

令和7年度 学校図書館活用計画・評価シート

白地部分：計画策定時記入（年度当初）

水色部分：評価時記入（年度末）

足立区立第十一中学校 校長 鵜飼 康成

1 学校教育目標

- ①広い視野に立ち深く考える人になろう。
- ②あたたかい思いやりを持ち、心にうるおいのある人になろう。
- ③すすんでものごとを行い、力いっぱい努力する人になろう。
- ④健康なからだをつくり、明るい心を持った人になろう。

2 現状の学校図書館の課題

- ①学校図書館を活用し、読書の楽しさを教え、心豊かな生徒を育てる。
- ②学校図書館の情報を効果的に活用し、主体的に学ぶ生徒を育てる。
- ③学校図書館を活用し、自分を表現できる生徒を育てる。
- ④読書に親しみ、読書習慣をもった生徒を育てる。

3 今年度の学校図書館の重点目標

- ①学校図書館を「読書センター」「学習センター」「情報センター」として利活用するよう、推進を図る。
- ②生徒の読書活動を支援し、様々な情報を効率的に駆使できるように指導する。
- ③教職員の教科指導のための教材・文献資料の提供をする。

4 今年度の重点的な取組

- ①学校図書館で学習が円滑にできるよう、環境を工夫する。
- ②読書時間を確保し、できるだけ図書館の本を読むような様々なアプローチをする。
- ③生徒が行きやすい、居やすい場所となるよう、司書と協力して環境整備に努める。

5 教科等における年間指導計画（対象学年は○数字で記載）

教科	内容（学校図書館の図書や資料を活用して取り組む単元等）
国語	①根拠を示して説明する②メディアの特徴を生かして情報を集める③情報を読み取って文章を書く
総合1年	魚沼自然学習における歴史や産業等を調べる
総合2年	職場体験に向けてさまざまな職業や進路について調べる
総合3年	修学旅行に向けて歴史や自分が設けたテーマについて学習する
美術	行事のしおりの表紙の資料を探し作品をしあげる
社会	「調べるコンクール」に向けて自分が必要な資料を探し、レポートを作成する

実践の評価

6 図書館運営計画

(1) 日常的な取り組み

①読書時間の確保（週2回の朝読書）②学級文庫の利用

(2) 主な行事等の取り組み

読書週間年2回

(3) 図書委員会などの取り組み

①図書館便りの発行(年6回)②購入図書希望アンケート③クラスルームによる広報活動

(4) 環境整備の取り組み

①図書委員推薦図書コーナーの設置②文学クイズなど図書に興味をもたせる掲示

(5) 司書・外部との連携

①学習に必要な図書を取り寄せる②教科指導のための教材・文献資料を充実させる

実践の評価

7	学校図書館利活用に関する成果目標	達成基準	達成状況
①	朝読書を継続し、生徒一人が年間20冊以上の本を読むことを目標にさせる。	年度末に読書記録を確認する。	
②	年間の学習指導内容に合わせ、図書館を活用した学習を展開する。	教科の振り返りを通して確認する。	
③	探究的な学習をICTと本、新聞など、複数の情報を活用して展開させる。	調べるコンクール等の出品状況で図る。	

8 学校図書館全体に関する自己評価